

2025

SUPER GT
RACE REPORT

Rd.4

8.2 [sat] - 3[sun]

[place] 富士スピードウェイ (静岡県小山町)

[weather] [sat] 晴れ・曇り・雨 / [sun] 晴れ

[spectators] 52,300人 ([sat] 24,900人 / [sun] 27,400人)

FUJISPEEDWAY



Rd.1	OKAYAMA >>>	APR 12-13	Rd.5	SUZUKA >>>>	AUG 23-24
Rd.2	FUJI >>>>>>>	MAY 03-04	Rd.6	SUGO >>>>>>	SEP 20-21
Rd.3	SEPANG >>>>>	JUN 27-28	Rd.7	AUTOPOLIS >	OCT 18-19
Rd.4	FUJI >>>>>>>	AUG 02-03	Rd.8	MOTEGI >>>>	NOV 01-02

TOM'S



2025 AUTOBACS SUPER GT Round4 FUJI GT SPRINT RACEが、8月2日(土)、3日(日)に富士スピードウェイで行われた。シリーズの公式戦としては初めての開催となったサクセスウェイトなしのスプリント方式で、#1 au TOM'S GR Supraは安定した速さを披露。Race1は坪井翔が優勝を飾り、Race2では山下健太が2位に入り、ライバルとのポイント差をさらに広げて、シーズン後半戦に挑む。



1

TGR TEAM au TOM'S

SHO TSUBOI 坪井 翔

KENTA YAMASHITA 山下 健太

Rd.4 Result

	Race1	Race2	
Qualifying	2位	2位	Driver Standings 1位
Race	1位	2位	Team Standings 1位

	Race1 : 坪井	Race2 : 山下
Qualifying	P2 / 1'28.220	P2 / 1'27.675
Race ファステスト ラップタイム	P1 / 1'28.826 ◀◀ Fastest	P2 / 1'28.541

Race1

予選 天候：晴れ／気温：33℃／路面温度：54℃
 決勝 天候：曇り時々雨／気温：34℃／路面温度：57℃



両クラス混走のRace1では、 坪井翔が力強い走りを披露。 序盤でトップを奪い、優勝を飾る。

シリーズ戦では初めての導入となったスプリントレース。途中のタイヤ交換や給油、ドライバー交代の義務はなく、土曜日と日曜日で別々のドライバーがドライブ。さらにはサクセスウェイトも全車搭載なしに統一され、車両とドライバーのパフォーマンスが試される大会となった。

2日(土)のRace1は坪井が担当。公式練習から好調な走りをみせ、ポールポジションへの期待も高まったが、予選ではライバルに0.053秒差で逆転され2番手からのスタートとなった。予選から約3時間後に行われた決勝(35周)は、GT300クラスとの混走で争われた。1周目からアクシデントが発生してセーフティカーが導入される展開となったが、坪井は冷静にチャンスをうかがい、レース再開直後の3周目TGRコーナーでトップに浮上。その後はGT300車両との混走も活用しながら後続との差を広げていき、2.5秒のリードを築いてトップチェッカーを受けた。

Race2

予選 天候：晴れ／気温：31℃／路面温度：43℃
 決勝 天候：曇り／気温：29℃／路面温度：37℃

山下が全身全霊の走りで、 ライバルを猛追するも、 0.7秒届かず悔しい2位。



3日(日)のRace2は、この日が30歳の誕生日の山下が担当。前日の好調さを維持し、公式練習ではトップタイムを記録した。予選でもポールポジションを目指してタイムアタックを行い、Race1の坪井よりも好タイムを記録した。しかしライバルも手強く、セッション終盤に山下を0.1秒上回るタイムを記録し、1号車は2番手からのスタートとなった。

Race2の決勝は前日とは異なり、GT500クラスのみで50分の時間制で争われた。混走の場面がない分、レース中に仕掛けるチャンスも少なくなるなか、山下はレース終盤にライバルが苦しくなって隙が出てきたところを突く作戦で、タイヤを労りながら周回を重ねていった。特に最後の3周は、コース幅をいっぱい使って気迫溢れる走りでライバルを猛追したが、惜しくも0.7秒届かず2位でフィニッシュした。1号車としてはスプリント2連勝とはならなかったが、シリーズランキング1位を維持し、後半戦に臨む。



2番手スタートでしたが、
チャンスはあると思っていました。

ドライバー 坪井 翔

予選で失敗があったなか、2位を獲れるだけのスピードがあるということは、決勝での1号車の強さを考えると勝つチャンスはあると思っていました。スプリントではありますけど、35周を走るという点では、いつもの1ステイメントとほぼ変わらないので、ドライバーとしてやることはあまり変わらない印象でした。決勝では途中雨が降りましたが、イレギュラーなことが起きないことを願いながら走っていました。しっかり1位を守り抜けて良かったです。



予選の結果がすべてでした。
悔しいです。

ドライバー 山下 健太

とても悔しいです。予選の結果がすべてと言っても良いくらいでした。タイムアタックでの組み立て方がうまくいきませんでした。決勝では、GT500クラスだけのレースということで、チャンスは最初か最後しかないと思っていましたが、序盤でチャンスを作ることができなかったのが、途中はタイヤを労りながら走り、最後の5周が勝負だと思ってトップに詰め寄っていきました。タイヤの消耗なども気にせずにペースを上げていきましたがあと少しの所でチェッカーが出てしまいました。



チーム監督 伊藤 大輔

シーズン中盤で高得点を獲れるとは思っていなかったのが、本当に良い週末になりました。1レース目は最初にポジションを落とす場面もありましたが、落ち着いて抜き返してくれたので、見ていて安心感のあるレースでした。

2レース目は予選が重要だということは分かっていたので、予選結果がそのままレースの結果に繋がったのだと思います。トップ2台だけのハイレベルな精神戦が34周にわたって続いて、最後は相手を追い詰める走りをしていただけに、ドライバーとしては悔しさが残るレースになったと思います。



チームオーナー 館 信秀

坪井に関しては特に何も言うことはないというくらい、本当に完璧なレースでした。予選では1コーナーでのミスが響きましたが、37号車も3位に入って、2台揃って表彰台に上がったのは嬉しいです。

2レース目に関しては、予選がすべてだったと思います。それでも山下は、最後までトップを追いかけて見どころのある走りを見せてくれました。こういうレースをやっていたいかなとけないなと感じました。

次戦もたくさんの応援をよろしくお願いいたします。

aw

KDDI

アヲキヨ

ZENT

GR TOYOTA
GAZOO
Racing

TGR-DC
TGR Driver Challenge Program

TGR-D

BRIDGESTONE

Entowa's
NUSH

DRY ZERO
F141E0
ALC 0.00%

Yc
Yi-Chiu Group

バンテリン

Happiness in Your Life
広島トヨペット

Deloitte.

MASEKI
GEINOSHA

Achilles

TAMIYA

QREX
MOTORSPORTS.COM

豊通テック
TEC

Valvoline
ADVANCED MOTOR OILS

uchino

bryza

HR
HYTECH RESIN

EDIFICE
CASIO

パンダ

MINODERA
DAIICHI
KAWAII

JAPAN
TRUCK SHOW
2025

LHG
Logistics Management

BRIDE

FUKADEN

S&D
TAMA GROUP

HRX

PORTS.CO.JP

ThreeBond

Mizuno

ENKEI

both.
SOUP

KVA

M
MECHANICAL WEAR